

## (無線 LAN)WiFi と モバイルデータ通信(3G, LTE 等)の違い

月報くんを利用するためには、インターネットを利用して google の Play ストアに接続する必要があります。

タブレット、スマートフォンには、インターネットを使用するための通信方法がいくつか用意されています。ここでは、2種類の通信方法(WiFi、「3G、LTE」)について、特徴と利点欠点について解説いたします。

以下の通信方法のどちらを利用するかによって、月報くんの取扱い方法が大きく変わって来ますので、是非ご一読ください。

### 1、(無線 LAN)WiFi 解説

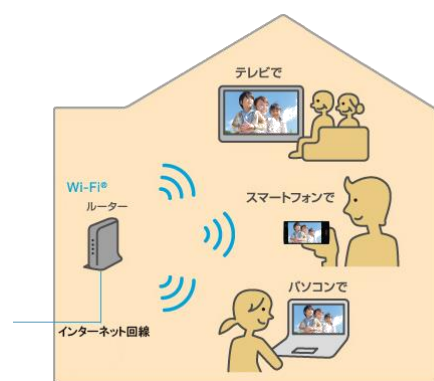
WiFi は、無線でテレビ、パソコン、タブレットやスマートフォンを相互に接続したりインターネット通信を行うための通信規格のひとつです。

#### 利点

- ・ 自宅でインターネットを利用されている方は、新たに毎月の支払が増えることはない。
- ・ 通信のスピードが速い。

#### 欠点

- ・ 通信可能エリアは半径 10メートルほどで、それ以外の場所では通信できない。
- ・ WiFi 用のルーター(発信機)を購入して設定することが必要。(家電販売店で設定サービスを行っている場合があります)



※月報くんは、稀(不定期)に印刷する際に通信が必要になることがあります。このため、通信に WiFi をご利用になる場合は、「毎回」点検に出る前に WiFi 通信が可能なエリアで帳票の印刷を試行する必要がありますのでご注意ください。

## 2、モバイルデータ通信(3G, LTE 等)

### 利点

- ・屋外でも通信可能。(携帯電話の通話可能なエリアであれば利用可能です)
- ・ルーター(発信機)等の機器が不要で、docomo, au, ソフトバンク等と契約すれば複雑な設定なしで利用できる。
- ・docomo, au, ソフトバンク等の販売店で技術的なサポートを期待できる。

### 欠点

・(月報くんをタブレットでご利用される場合)は、いまご利用中の月額課金以外に月額数千円の課金が必要になる。

※ご利用中のスマートフォンで月報くんを利用される場合は、新たな課金は必要ありません。

※モバイルデータ通信をご利用になる場合は、携帯電話事業者にてパケット定額制サービスをご契約ください。ご契約にならずにモバイルデータ通信をご利用になった場合、多額の通信料を請求される場合がありますのでご注意ください。

### その他の通信方法(テザリング)

スマートフォンには、スマートフォン本体をWiFi 発信機にすることが可能なテザリングという機能があります。

この機能を利用すると、屋外でもWiFi を利用することが出来るため上記

1、2の利点を活用することが出来ます。こちらも併せてご検討ください。(テザリング機能につきましては docomo, au, ソフトバンクの販売店にてご相談ください)

月報くんは、少なくとも1カ月に一度は google のサーバーに接続して課金の状況をチェックする必要があります。また、不定期で機能向上および改善のためのプログラム更新処理が行われますのでWiFi かまたはモバイル通信は不可欠です。

スマートフォン、タブレットはWiFi、モバイル通信のいずれにも対応しております。ご利用の際は、最寄の家電店にご相談ください。